

星の世界の歩き方②

前回は空の目印についてお話しましたが、今回は星空の案内役となって星座や星を探す手助けをしてくれる、とっても便利な道具をご紹介します。この道具を使えば、好きな日時の星空を手元に再現することができます。昼間見ることのできない星空も、好きなあの子の生まれた日の星空も、いつの星空でもです。この信じられないほど便利な道具の名前は“**星座早見盤 (planisphere)**”と言います。この使い方さえマスターしておけば、知らない星座もどんどん見つけていくことができます。これから一緒に星座早見盤の使い方を覚えていきましょう。

1. 星座早見盤の色々な線

(1) 上の盤（くるくる動く方）

地平線からの高さ（角度）、真北または真南からの角度（方角）、天頂（頭の真上）、北極星の位置（天の北極）などが記してあり、周囲には1日の時刻が書いてある。

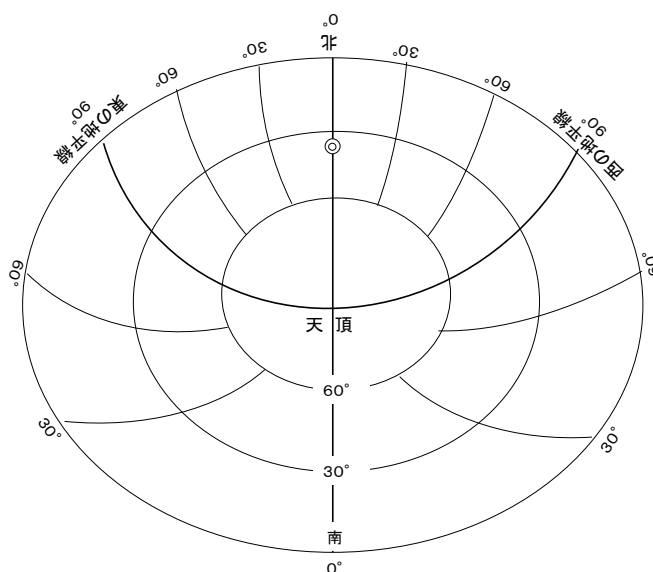


図 1-4 上盤の窓に書いてある線

- ・ 窓の範囲 : 今見えている夜空全体
- ・ 窓の縁 : 地平線（または水平線）
- ・ ハトメ : 北極星のある位置（天の北極）
- ・ 天頂 : 自分の頭の真上
- ・ 天頂を中心とする同心円 : 地平線からの高さ（角度）
- ・ 天頂から出ている放射状の線 : 真北（または真南）からの角度（方角）

(2) 下の盤 (動かない方)

星、星座、その他の天体 (月、惑星以外)、天の川、星の位置 (赤経、赤緯)、天の赤道、黄道などが記してあり、周囲には月日を書いてある。

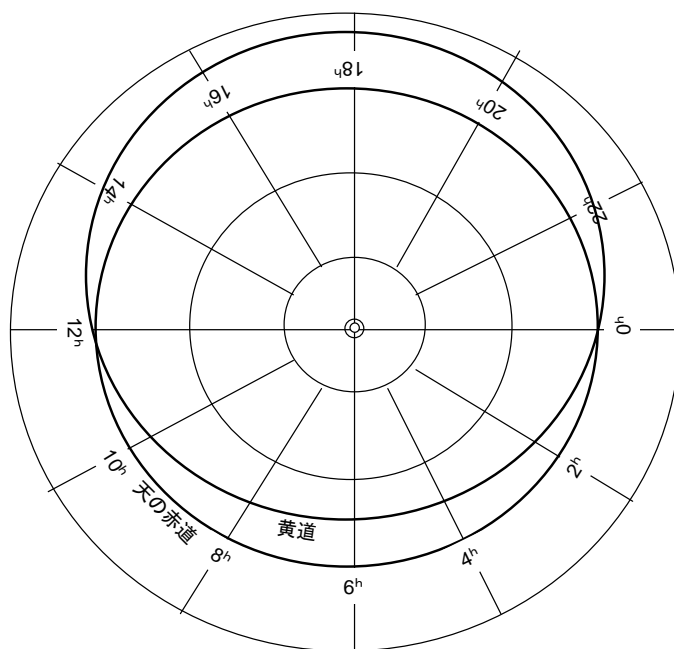


図 1-5 下盤に書いてある線

- ・ 天の赤道 : 地球の赤道を空まで延ばしたところ
- ・ 黄道 : 一年間の空での太陽の通り道
- ・ ハトメ : 北極星のある位置 (天の北極)

2. 星座早見盤の使い方

- (1) 再現したい星空の月日と時刻を合わせる。
- (2) 星座早見盤を頭の上にかかげ、下から見上げるようにして見る。
- (3) 方角を合わせる。
- (4) 星座早見盤の星空と実際の夜空を見比べて、見つけたい星や星座を探す。

おまけ : ある方角の空だけを見たい場合は、星座早見盤に書いてある方角のうち見たい方角を下にしてその方角に向かい、星や星座を探すと簡単です。

これで、星座早見盤の使い方は終わりです。月日と時刻を合わせるだけでいいのですから、簡単ですね。では、実際に星座早見盤を使って星や星座を探してみてください。